

学校だより 10 月号



学校 HP

横浜市立綱島東小学校

【地域のなかにある「つながり」】

副校長 藤井 周子

先日、諏訪神社例大祭がありました。本校は、地域の自治会の「神酒所」として使われています。前日から地域の皆様が集まり、お神輿を迎える準備が始まりました。校内に祭りの道具が運び込まれ、いつもの学校とは少し違った雰囲気になります。

準備が終わり、皆さんが帰られた後の学校を見て、ふと思いました。門は開いたまま。提灯には明かりが灯り、祭りの道具は、すぐに使えるように明日の本番を待って置かれています。

学校を預かる側からすると、「大丈夫かな」と少し気になる光景です。でも、地域の皆様にとっては、それが当たり前なのでしょう。「何事も起こらない。」そこには、「ここは大丈夫」という、長い年月の中で育まれた信頼があるのだと思います。



横浜という大都市の中で、こうした関係が自然に続いていることを、改めて素敵なことだと感じました。

そして祭りの翌朝には、地域の皆様が学校周辺のごみを拾ってくださっていました。自分たちが使った場所を、自分たちできれいにする。その姿にも、この地域の温かさを感じました。

学校では、前期のまとめを迎え、後期へと移る時期です。いよいよ運動会に向けた取組も始まります。子どもたちが友達と声を掛け合い、力を合わせながら、一つ一つの経験を積み重ねていく姿を楽しみにしています。

地域の皆様に見守られながら、子どもたちは育っています。この地域にある、人と人との信頼を大切にしながら、学校も地域の一員として歩んでいきたいと思っています。